

幸福を、平和を、豊かな心を、カンボジアの友と分かち合おう

Angkor Wat

アンコールワット

発行日:2016年(平成28年)7月1日 《年6回・奇数月発行》 会報 第89号

特定非営利活動法人(NPO法人)

21世紀のカンボジアを支援する会

《AAC21》ASSOCIATION OF AID FOR CAMBODIA IN 21 CENTURY

【東京本部】〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL:03-3991-2854 FAX:03-3557-1213
E-mail:info@aac21.net【カンボジア事務所】Phon Preytea, Sangkat Chaom Chao,Khan Por Senchy
Khan Por Senchy,(Borey Newtown) Phnom Penh
(855) 78-784-808 (855) 17-599-707

【ホームページ】 AAC21 検索

【公式ブログ】 メコンの風に吹かれて 検索

【Facebook】 https://www.facebook.com/aac21.net 検索

初心者向け「カンボジア語講座」を開催

NPO法人 21世紀のカンボジアを支援する会 理事長 根岸 恒次

んが所有する銀座のビルの一室を、無償提供してくれた。

講師は、カンボジア人留学生のノップ・ヴィサルさん(明治大生)。昨年、共通の知人を介してお会いしたとき、講師をお願いした。住んでいる場所が浅草で、会

14日、補講の形で2回分の講座を行った。

受講者は11人で開始したが、うち9人が修了、最終日に簡単な修了証書を授与した。

今後、6月中旬に第2回目を集

カンボジアに住む人々、特に子どもたちと交流を深めようと、初心者向け「カンボジア語講座」を始めた。第1回目の講座が2月6日に始まり、4月23日に修了した。

会場は、法人会員の大川義廣さ

月11月にかけて、第1回と同様に毎週土曜日の午後開催する予定。カンボジア語はやさしいようにで

でも叶う気がする。カンボジア語を話すことを習慣にすれば、結構いけるかもしれない。



修了式に出席した受講生の皆さん(4月23日)



ステージでは、カンボジア舞踊公演などが行われた



買い物客でにぎわう本会のテント前



お手伝いしてくれた本会会員の皆さん(5月7日)

メインステージでは、カンボジア王立舞踊団による舞踊公演、民族衣装ファッションショーなどが行われた。

両日、のべ15人以上の会員さんがお手伝いしてくれ、カンボジア製品を販売したり、会報配布などをして



新入園した子を加え11人になった子どもたち

明るいひまわりに囲まれて
児童養護施設「夢ホーム」では、日本人の方が種を植えたひまわりが満開になり、子どもたちを楽しませている。

カンボジアの子どもたちをサポートしてください



里親さん、ありがとう

クメール教育里親会員募集

長かった内戦が終わって平和になったカンボジアですが、国の復興はなかなか進まず、多くの人々は貧困に苦しんでいます。特に農村では、貧しかったり親を亡くしたりして学校へすら行けない子どもや、学校へ行けても途中でやめてしまう子どもが後を断ちません。

本会では、農村の子どもたちが学校へ行けるようにと、教育資金をサポートしてくれる里親さんを募集しております。

例えば70年前、敗戦して焦土となった日本を救ってくれたのは、諸外国からの援助でした。カンボジアも食料援助をしてくださいました。日本の子どもたちもその恩恵を受け学校に行けるようになりました。豊かになった私たちが、今度は困っているアジアの子どもたちを支援する番です。

※お友達グループや職場など、グループ単位でサポートしていただくこともできます。

【年会費】: 子ども1人につき、1年間3万円。一括納入、分割納入(毎月、年3回、年2回)のどちらでも可。所定の郵便振替用紙を使ってお振込みください。

【会費の用途】: 年会費の40%が、学用品、制服、靴などの購入、学校への納付金、お小遣い、生活資金など、子どものために使われます。年会費の60%が、夢ホームで暮らす子どもたちの生活費及び運営費、里子をケアして下さる各学校への謝礼金、現地スタッフの給料・ガソリン代・事務所家賃・車の減価償却費など現地でかかる経費、通信費・印刷費・人件費など東京の本部でかかる経費として使われます。

【サポート期間】: 最低1年間単位ですが、少なくとも里子が学校を卒業するまでの期間、サポートしていただけたら幸いです。里子からは年2回、近況を報せる手紙(日本語に翻訳)と写真が届きます。(年に一度、成績表も届きます)

【里子との交流】: 里親さんからの手紙、プレゼントも里子に届けることができ、心あたたまる交流ができます。(お礼状と写真が届きます)

本会は皆様からの寄付金のみで活動しているNPO法人であり、現在公的資金(税金)はいただいておりません。

児童養護施設 夢ホーム日記

カンボジアのコンポンスプー県にある児童養護施設「夢ホーム」は、両親や片親を亡くしたり、親がいても家庭的に恵まれない子どもたちの生活と教育の場として、会員の皆様のご厚意により2009年3月に開園した。

現在10歳～19歳の11人の子どもたちが暮らし、近隣の小・中・高校に通っている。

■ 防犯用に有刺鉄線を設置

村西宏章さん(千葉県市川市、里親会員)の資金協力により、夢ホームの塀に防犯用有刺鉄線を設置した。残念なことに時々泥棒に入られることがあるため、以前から設置が望まれていた。



これで安心です

■ 新しく女の子が入園

5月20日、女の子が新入園した。スレイヌットちゃん、10歳。母親と2人で暮らしていたが、貧しくて学校に通えなかった。

「夢ホーム」はこのような子どもたちのためにある。里親さん募集中。



いっしょに学校へ行こうネ!

《夢ホーム》第26回鑄造によるアクセサリー作り技術講習会

榎戸徹彦さん(横浜市、理事・里親会員)は、ほぼ隔月に夢ホームを訪問、子どもたちを対象にアクセサリー作りの技術講習会を開催している。

第26回講習会を4月26日～29日、「夢ホーム」で開催した。

新しく加わった2人は、テキストに従い基本を学んでいる。

他の子たちは、「平和」を意味するクメール文字のペンダントを作り始め、アンコールワットを型どった指輪を作ったりしている。

次回の講習会を、7月26日～29日に予定している。



熱心に学ぶ子どもたち

カンボジアの小学校に1つの井戸が完成

5月はカンボジアの小学校に一つの井戸が完成、16日、贈呈式を行った。井戸を提供してくれたのは湯本悦次さん(東京都世田谷区、里親会員)、根岸理事長が贈呈式に出席した。

水道がないカンボジアの農村にとって、井戸は貴重な水源になる。引き続きご支援をお願いしたい。



井戸の完成を喜ぶ子どもたち

5月に完成した井戸の内訳			
ネームプレート名	学校名	生徒数	所在地(県名)
① 湯本 悦次	ボールセイ小学校	230人	コンボンチャム県

※通算の井戸設置数(2003年～)＝283基(5月現在)

デチョーアンカイン小学校完成間近!



ほぼ完成した新校舎

鈴木千雄さん(愛知県あま市、里親会員)の協力で、3月に建設を開始した「デチョーアンカイン小学校」の新校舎はほぼ完成、7月の完成式を待つばかりになった。

カンボジアはすでに雨季が始まり、道路事情が悪くなっているため、工期より早めの完成となった。



遠藤さん、ありがとう!

遠藤啓さんが
集合写真を提供



5月17日、セナープロモック小学校(プレアビビア県スローン郡)を訪問した。昨年11月、宮下隆さん(東京都調布市、里親会員)の協力で新校舎が完成した時に、同行した遠藤啓さん(静岡県伊豆の国市、会員)が撮ってくれた集合写真を、生徒一人ひとりに差し上げた。

初めて手にした写真を、生徒たちは感慨深く見ていた。

午前か午後の半日授業

教室や先生の数が少ないことが原因で、通常午前・午後で生徒を入れ替える2部制になっている。授業時間は、午前から7時～11時、午後が1時～5時。



活気あふれるカンボジアの授業

日本と同じ6年制で義務教育になっているが、途中で退学する子や留年する子も多く、6年間で卒業できる子は半数程度と見られている。

科目ごとの成績を4段階で評価する通知表は月1回、テストも毎月実施され、成績が悪いと落第することもある。日本より厳しい。

義務教育とは いうものの

カンボジアの新学期は昔から10月だったが、洪水の時期と重なり通学できない子が多いため、最近では11月に新学期を迎えることが多い。

11月～4月(クメール正月)が1学期、4月～8月が2学期(3学期はない)9月～10月は長い休み期間となる。

11月に始まり 8月に終わる

カンボジアの新学期は昔から10月だったが、洪水の時期と重なり通学できない子が多いため、最近では11月に新学期を迎えることが多い。

11月～4月(クメール正月)が1学期、4月～8月が2学期(3学期はない)9月～10月は長い休み期間となる。



里子たちが通う農村の小学校を訪問し、聞いて見ました!!

カンボジアの子どもたちの学校生活は?

「クメール教育里親基金」が支援するカンボジアの子どもたちは、どんな学校生活を送っているのだろうか?

通学にかかる時間

カンボジアでは、末端の行政区分である村に一つの小学校を設置することを目標としているが、現状は2～3の村に小学校が一つといったところ。従って家から遠い小学校に通学する子どもが沢山いる。

自転車通学も認められているが、15分～20分ほど歩いて通学する子が多い。



集団で下校する生徒たち

休憩時間

授業の合い間に10分ほどの休憩時間があるが、女の子ならゴム跳び、男の子はサッカーなどやっている。

売店でお菓子を買うのも楽しみの一つ。



休み時間にゴム跳びをする女生徒

一週間の時間割

日曜日は休日、土曜日は普通に授業が行われる。木曜日を予備日として位置づけ、学校によって様々なことを行っている。(清掃、復習など)

【1年生～3年生の時間割】

勉強時間	月	火	水	木	金	土
6:45～7:00	朝礼					
7:00～7:40	体育	クメール語	クメール語		保健	クメール語
7:50～8:30	クメール語	クメール語	クメール語	復習・生活	クメール語	クメール語
8:40～9:20	クメール語	算数	算数		算数	算数
9:30～10:10	算数	算数	クメール語		クメール語	算数
10:20～11:00	クメール語	理科・社会	理科・社会		理科・社会	クメール語

教育里子へのプレゼントについてお願い

●里子へのプレゼントを届ける方法は2つです。

①現地(カンボジア) 購入

本会の現地スタッフがカンボジアで購入し、教育里子に届けます。所定の郵便振込票を使ってお送りください。プレゼントの種類は、下記の通りです。

■ 自転車(大人用・中古品)	8,000円
■ お米&お菓子セット(お米は50kg)	6,000円
■ Tシャツ・サンダルセット (Tシャツ2枚&ぞうり1足)	2,000円
■ 本セット (絵本2冊/中学生以上は英語辞書1冊)	1,000円

②日本から持参

現物を練馬区の事務局に送っていただき、カンボジア訪問時に現地へ持参します。空港からの持ち出しに重量制限がありますので、A4サイズ封筒に入る程度にしてください。

※現物が多い場合、現地への持参を先に延ばしていただくこともありますので、予めご承知ください。

- 奇数月にカンボジアを訪問しますので、プレゼント(現物・現金ともに)は偶数月の末日までに届きますよう、お送りください。
- 詳細は、事務局までお問い合わせください。
(TEL03-3991-2854)

里子家庭訪問記録

名前: ティツ・シェムちゃん	学校名: エミ小学校	
年齢: 10歳	学年: 小学3年生	性別: 女の子
住んでいる場所: コンボンスプー県 オラール郡 ドンジョンコミュニン ジャム村		
学校までの所要時間: 徒歩20分		
好きな教科: 国語 (特に物語を読んで、読解するのが好きです)		
苦手な教科: 算数 (特に計算をするのが苦手です)		
担任から一言: 成績: A 道徳: A 学校活動: A 健康: A 出席: A		
家庭状況: 現在、お母さんと暮らし、お姉さん1人、お兄さん1人、妹さん1人で、ティツ・シェムちゃんは第3子です。		
一日の過ごし方: 朝5時半に起床。顔を洗って、家の周りで掃除して、朝食を食べてから、学校に通っています。 授業が終わってから、家に戻って来て、昼食をとります。 夕食は6時ごろに食べ、シャワーを浴びてから学校で勉強した事の復習をしたり、宿題をしたりしています。8時半に寝ます。		
好きな遊び: 縄跳び 好きな食べ物: 魚、ロンガン (果物)		
将来の夢: 国語の先生教になりたいです。		



自宅の前で姉と兄と一緒に撮った写真
(真ん中がティツ・シェムちゃん)

ティツ・シェムちゃんはよく勉強して、学校の授業では道徳が良く、試験で良い成績をあげて、先生に褒められました。
毎日元気に学校に通って、教室で一番成績がいいそうです。
学校の授業では、質問が分からないとき、同級生に聞いて、休み時間には友達とかくれんぼやゴム跳びをして遊んで楽しいと言っていました。
毎月里親さんからいただく支援金は、お母さんに預かってもらい、一部のお金は学校でお小遣いとして使います。
ティツ・シェムちゃんは毎朝、学校に行く前にお母さんの家事の手伝いをしています。
担当者: チア・スレイニッチ (現地スタッフ)

本会では、病気や事故、親の離婚などにより両親や片親を失い、かつ貧しい家庭にいる子どもたちが安心して学ぶことができるように、2003年に「クメール教育里親基金」を創設、現在約380人の子どもたちを教育支援している。
5月10日、23日のカンボジア滞在中、8人の里子に、教育里親さんから預かったプレゼントを自ら届けた。
里子は皆元気で、里親さんに感謝の手紙を託された。
(根岸恒次・法人理事長)



里子にプレゼントを届けた

クメール教育里親基金活動レポート

東久邇宮記念賞授与式&祝賀会

4月18日、「大阪ガーデンパレスホテル」(大阪市淀川区)で「東久邇宮記念賞&祝賀会」が開催、受賞者など約200人が出席した。東久邇宮記念会(東京都新宿区百人町)が主催した。
同会は、昭和天皇の女婿、東久邇宮盛厚殿下(故人)の遺言により発足、当初は小発明に貢献のあった人を顕彰していたが、近年は受賞範囲を拡大、文化・芸能・スポーツ・ボランティアなどの分野で社会貢献した人たちに門戸を広げ、一般大衆に親しまれる宮様の賞として定着した。
根岸理事長が同会の幹事を務め



受賞した会員の皆さん

「国際ソロプチミスト安城」(愛知県安城市・大徳令子会長、法人会員)が認証20周年を迎え、3月30日、安城市内のホテルで記念式典と祝賀会が開催された。根岸理事長が出席した。
認証20周年記念事業として、カンボジアの小学校にソーラー・システムを寄贈(既報)したほか、記念式典の中で本会へ金一封(目録)が贈呈された。
同クラブは、石川桂副理事長(安城市在住)が仲介する形で、本会を通じてカンボジア支援を行っており、



式典会場で美女に囲まれて

銀行員になりたいです【ルン・クンティア】

日本の里親さん、私はルン・クンティアと申します。大学3年生で、21歳になります。おばと一緒に、プノンペン市内のアパートに住んでいます。
昼間は、レストランで会計の仕事をしているが、プノンペン市内にある夜間の私立大学に通い、会計学を学んでいます。将来、銀行員を目指しています。
小学生の時に母親が病死、父親は再婚して家を出ました。妹と2人、親戚の家で育ちました。小学5年生の頃から日本の里親さんより教育支援を受けています。今も生活が厳しいので、大



ルン・クンティアちゃん

学を卒業するまで、支援をお願いしています。
私は親に捨てられましたが、日本の里親さんが親代わりになって教育支援してくださり、本当に感謝しています。大学を卒業したら、里親さんにお礼をするつもりです。

「岡三アジア情報館」閉館

岡三証券株式会社が2005年に開設した「岡三アジア情報館」(東京都港区虎ノ門)が、地域再開発のため4月28日に閉館した。
同館は開設当初より、来館者から寄付金を募集してカンボジアに3基の井戸を寄贈してくれた。また、一昨年には同館でカンボジアの写真展&セミナーを開催、カンボジアへの支援活動に貢献してくれた。
長い間ありがとうございました。



閉館したアジア情報館

東村山市で写真展開催

4月26日(30日、東京都東村山市、「市民ステーションサンパルネ」で写真展「カンボジアの子どもたち」を開催した。会場使用料金が無料とあり、昨年に続き開催した。
無人の写真展だったが、大勢の皆さんに子どもたちの元気な様子を知っていただいた。



ロビーに写真を展示

札幌手稲高校家庭クラブが日用品など寄贈

北海道札幌手稲高等学校家庭クラブの皆さんが、日用品、学用品などを集めてくださり、船便で現地へ送ってくれた。
5月16日、井戸贈呈式を行った小学校へ寄贈、とても喜んでた。



家庭クラブの皆さん、ありがとう!

お寺の軒下で授業

昨年度校舎を新設した「プレチーク小学校」の校長先生から、校舎がなくお寺の軒下を借りて授業している小学校を紹介したいとのこと。5月21日、早速リサーチに出かけた。

今まで遠くの小学校へ通学していたが、交通量が多くなり危険でもあるため、1年前からここで授業をしているという。生徒数160人で、先生は3人。場所はトウボンクモム県。近いうちに新校舎を建ててあげたい。



新校舎を求めています



年々暑くなる東南アジア 根岸 恒次



5月のカンボジア滞在は2週間、「カンボジアフェスティバル」が終わるとすぐに旅立ち、24日に無事帰国した。

今回の訪問は久しぶりに一人旅、やや寂しさを覚えつつも気ままに振舞えたのが良かった。

日本も同様なのであまり大きな声で言えないが、カンボジアの5月は祝日が多く、活動しづらいことがあった。数えてみると7日ある。

これに土・日を加えると月の半数がお休み。祝日を取るとは決して悪いことではないが、気がかりは子どもたちの登校日が少ないことだ。

加えて、今年は東南アジア全域が異常な暑さに見舞われており、カンボジアの教育省では暑さが収まるまで、午前中の授業終了タイムを11時から10時半にする措置を取った。

暑さに加え、今年は雨が降らず、農家も悲鳴を上げている。通常5月からはカンボジアの首都プノンペンでは、交通渋滞が激しさを増している。特に雨季になると道路が冠水して狭くなり、ひどい時は30〜40分間、車が動かなくなってしまう。道路整備が少しずつ進んでいるものの、車の増加に追いつかない状況。

月から雨季に入るが、今のところ雨季とはいえない降雨量だ。野生動物も沢山死んだと新聞に出ていた。

灌漑設備の乏しいカンボジアの米作は雨が唯一の水資源、降らないことには田植えが始まらない。

日本も災害が多い国だが、カンボジアも熱波と水不足という2つの災害と日々闘っているのだ。

さて今度の旅も、会の活動をほぼ予定通りに遂行できた。建設中の小学校校舎の視察、井戸の贈呈式、里子のプレゼント配布、夢ホーム訪問、現地スタッフとの打ち合わせなど、充実した日々を過ごした。

幸い、9月から成田⇄プノンペン間の直行便の就航が決まり、体力の負担軽減に繋がる。

10年間欠かさなかった隔月訪問も、体力的に厳しくなっている矢先の朗報は実にタイムリーであった。(本会公式ブログ メコンの風に吹かれてより転載)



ウオッチカンボジア

益々激しい交通渋滞

カンボジアの首都プノンペンでは、交通渋滞が激しさを増している。特に雨季になると道路が冠水して狭くなり、ひどい時は30〜40分間、車が動かなくなってしまう。道路整備が少しずつ進んでいるものの、車の増加に追いつかない状況。

夢ホームにココナッツやしの実

2009年に開園した夢ホーム、その時に植えたココナッツやしの木が、実をつけるまでに成長した。子どもたちの成長も早い、木の成長も早い。あと5年もすれば、高さ10メートルの大木になるだろう。

活動に参加しませんか

ボランティアとして

学用品を現地の学校で配布したり、子どもたちと交流して下さるツアー参加者を募集しています。ツアーは、年3回実施しています。

クメール教育里親基金

農村の貧しい子どもたちが学校に行けるようにと教育資金をサポートして下さる教育里親会を募集しています。サポート金額は年間3万円(分割可)です。

会員として

- ・個人会員(年額105千円)
- ・法人会員(年額100万円)
- ・教育里親会員(年額里子1人につき3万円)

会員の皆様には、隔月発行する本会の会報「アンコールワット」を発行の都度郵送します。会費の送付は、郵便振替、銀行振込み、現金書留で。

郵便振替口座名

21世紀のカンボジアを支援する会(口座番号)

0013000160916

※銀行振込をご希望の方は事務局へご報告ください。

※郵貯銀行の自動引き落としをご希望の方は事務局へご報告ください。

東京都調布市写真展カンボジアの子どもたち

東京都・調布市内で写真展と活動報告会を開催します。

お近くにお住まいの皆様、ぜひお越しください。(入場無料です)

写真展「カンボジアの子どもたち」

【日時】8月17日(水)〜21日(日)

※17日は午後3時から開始

※21日は午後3時で終了

活動報告会

8月20日(土) 13時〜15時

【講師】根岸恒次理事長、ほか

【会場】調布市文化会館たづくり

みんなの広場(11F)

東京都調布市小島町

2133-1

【交通】京王線調布駅南口下車

徒歩5分(調布市役所そば)

※詳細は、事務局へお尋ねください。

新しい仲間が増えました

2016年4月〜5月に新しく会員になられた方を紹介いたします。ありがとうございます。

教育里親会員

- ・宮尾美貴子様(神奈川県)
- ・渡邊萌寧様(神奈川県)
- ・斎藤幸子様(埼玉県)
- ・松本とよ美様(滋賀県)
- ・個人会員
- ・増田祐美子様(神奈川県)
- ・西山庸二様(沖縄県)

「メコンの風に吹かれて」

根岸理事長が会の公式ブログ「メコンの風に吹かれて」に掲載した80編が一冊の本になりました。200頁に満たない小さな単行本ですが、現地カンボジアのことを知るには良い教材です。ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。



お悔やみ申し上げます

里親会員の佐々木弘文様(青森県南津軽郡藤崎町)が3月16日、病気のため逝去されました。享年68歳でした。心からご冥福をお祈りいたします。ご主人の後を継ぎ、奥様の佐々木正子様が、里親を継続してくれ、ことにしました。

募金箱設置のご協力をお願いします

本会では、夢ホーム始め現地活動を支えるため、紙の募金箱を作成して皆様にご支援をお願いしております。折りたたみができ簡単に送ることができます。貯まったお金は郵便局から振替用紙を使って送金ができます。(小銭は郵便局で数えてくれます。)お電話いただければすぐにお送り致します。

書き損じハガキ・未使用切手・商品券等をお送りくださいませ

本会では、書き損じハガキ・未使用の切手・ビールやデパートの商品券を集め、活動資金にしております。皆様の家に眠っているものがございましたら、ご協力くださいますよう、よろしくお願い致します。普通郵便で事務局へお送りください。

事務局便り

■梅雨に入り、カンボジアも先月あたりから雨季になりましたが、いつもの年より雨が少なくそうです。この時期、健康管理に十分お気を付けください。

■第33回カンボジアふれあいの旅は少人数ですが、予定通り実施いたします。旅の安全をご祈念ください。旅のレポートは次の会報で詳しくいたします。

7月〜8月の予定

- 会報「アンコールワット」7月1日付第89号発行
- 第33回カンボジアふれあいの旅(7月6日〜12日)
- 写真展&活動報告会(8月17日〜21日)
- 調布市文化会館たづくり・みんなの広場11F
- ※活動報告会 8月20日、午後1時〜3時



「夢ホーム」で子どもたちと楽しい交流・里子の家庭訪問・アンコールワット観光・トンレサップ湖、水上生活村の小学校訪問など 第34回カンボジアふれあいの旅 参加者募集

本旅行は観光旅行では味わうことのできない現地の子どもの交流をはかることができます。特に本会が運営する児童養護施設「夢ホーム」の子どもたちが皆様をお待ちしております。あわせて学用品配布や井戸の贈呈式に参加でき、思い出に残る充実した海外旅行を楽しむことができます。もちろんカンボジアといえば世界遺産の宝庫、アンコールワット観光やトンレサップ湖水上生活村の小学校訪問もコースに入れました。なお、募集は原則として本会会員を対象にしておりますので、参加される方は、事前に会員登録(一〇5,000円)が必要になります。



「夢ホーム」の子どもたちが皆さんをお待ちしています



水上生活村の小学校を訪問します

■お問い合わせ・申し込み

旅行企画☆特定非営利活動法人
21世紀のカンボジアを支援する会
〒176-0011 東京都練馬区豊玉上2-25-7-203
TEL: 03-3991-2854 / FAX: 03-3557-1213

【旅行期間】2016年11月3日(木)〜11月9日(水)〈5泊7日〉

【募集定員】最少催行人員10名様(定員=20名)

先着順で受け付け、定員になり次第締め切ります。

【滞在ホテル】シティリバーホテル(シェムリアップ)2泊

ミトホテル(プノンペン)3泊

【利用空港】成田空港、関西空港、中部(名古屋)空港など

【旅行日程】3日=成田空港・関西空港などから乗り継ぎにてカンボジアのシェムリアップ国際空港へ
4日=ワンコールワット観光(自由行動も可能)
5日=トンレサップ湖、水上生活村の小学校訪問
シェムリアップ→プノンペンへ飛行機で移動
6日=夢ホーム訪問、子どもたちとの交流
小学校対抗サッカー大会観戦又は買い物
7日=里子の家庭訪問(終了後は自由行動)
8日=プノンペン市内半日観光(午後は自由行動)
午後5時ホテルチェックアウトして帰国の途に
9日=早朝、成田空港、関西空港などに到着

【旅行代金】15万円〜16万円を予定。(シェムリアップ→プノンペンへの移動が昨年から、飛行機になりましたので、その分割高になります。)※現地までの航空券代、現地国内便の航空券代、現地での宿泊代食代、車代など、旅行にかかるほとんどの費用を含みます。*1人部屋希望者追加料金5泊10,000円。*傷害保険は各自でおかけください。*ビザ申請代(30ドル)、アンコールワット入園料(20ドル)等は現地にて各自お支払ください。

【締切日】2016年8月31日(月)